

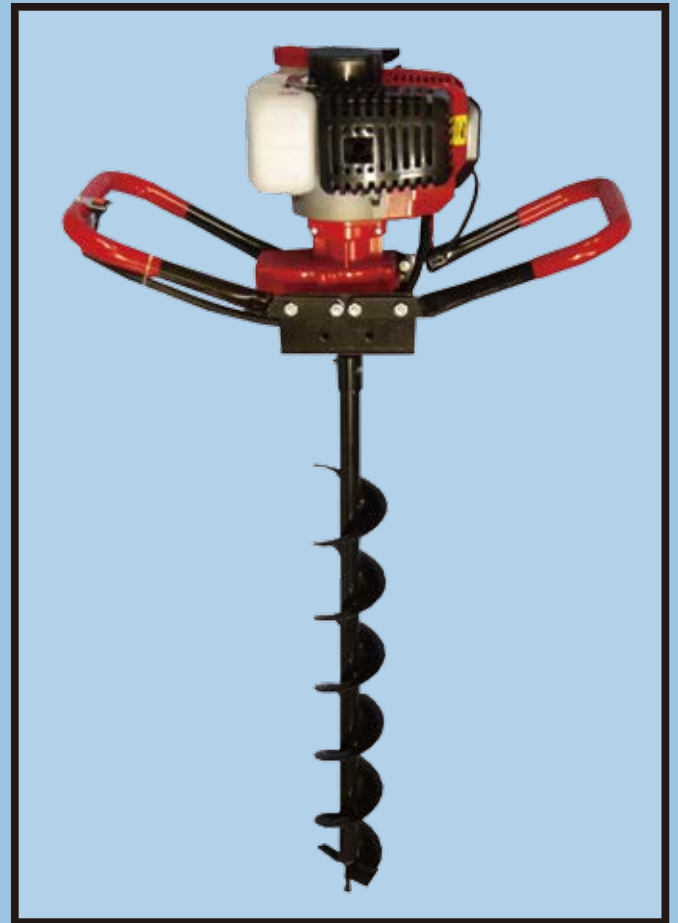
# 穴掘り機 (50ccエンジン、ドリル交換可能タイプ)

DK52-R

各種穴掘りに便利です。

## 使用例

- 単管パイプを打ち込む時の穴掘り
- 農作物種まき時の穴掘り。
- 杭を打つ時の穴掘り。
- 苗木を植える時の穴掘り。
- 冬の湖の氷に穴をかける時。
- 仮設の電柱の設置の時。



短時間で効率的に  
穴を掘れます。

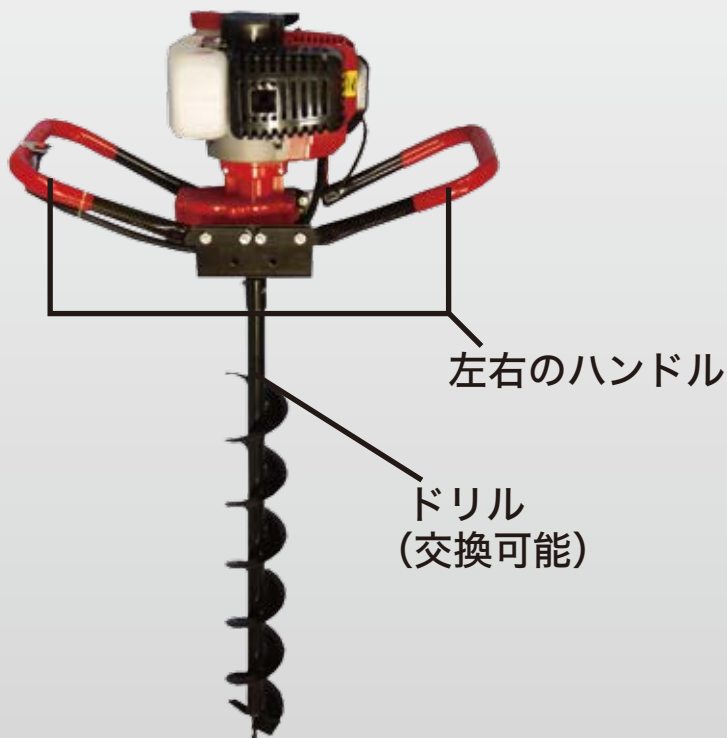
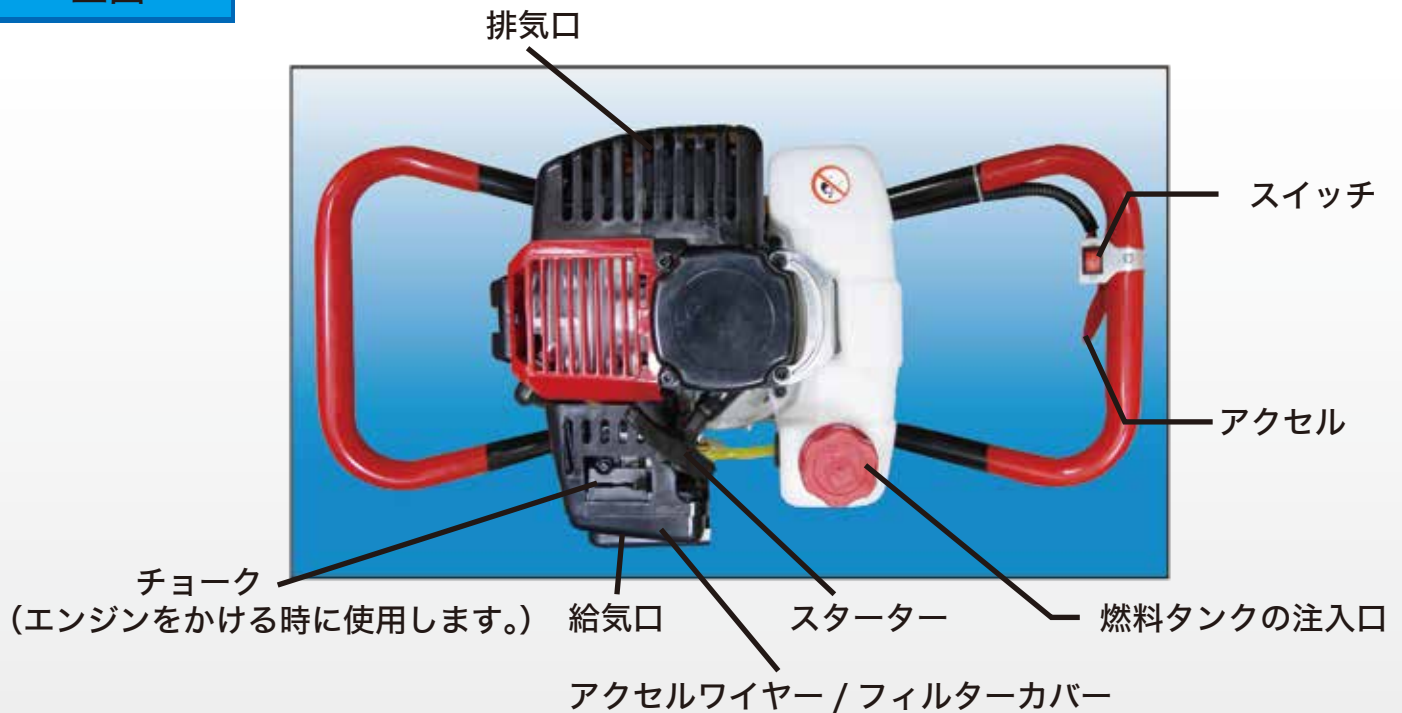
## 本体規格

型番	DK52-R
燃料	2サイクル混合ガソリン
穴掘り回転スピード (rpm)	170-200
穴掘り回転方向	時計回り方向
重さ	本体 9.5kg/ ドリル約 5kg
使用可能ドリル直径 (ドリルの長さは全て 80cm)	φ40、φ60、φ80、φ100、 φ120、φ150、φ200
延長棒	30cm、50cm、80cm

## エンジン規格

排気量 (cc)	51.7cc
MAX 馬力 (PS)	2.3
冷却方式	空冷
燃料タンク容量	0.9L
騒音レベル	93 dB

## 正面



## 付属品



- ・ 工具一式
- ・ オイル混合用ポリタンク
- ・ 漏斗

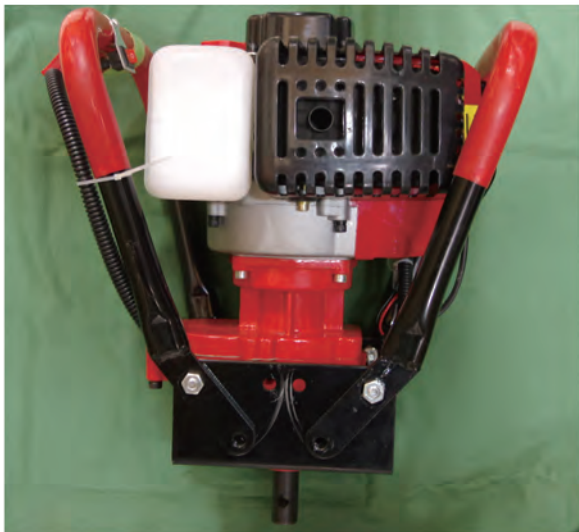
株式会社アスクワークス

TEL:03-5610-3666

[http://askworks.com/html/page\\_n\\_main.html](http://askworks.com/html/page_n_main.html)

販売代理店名

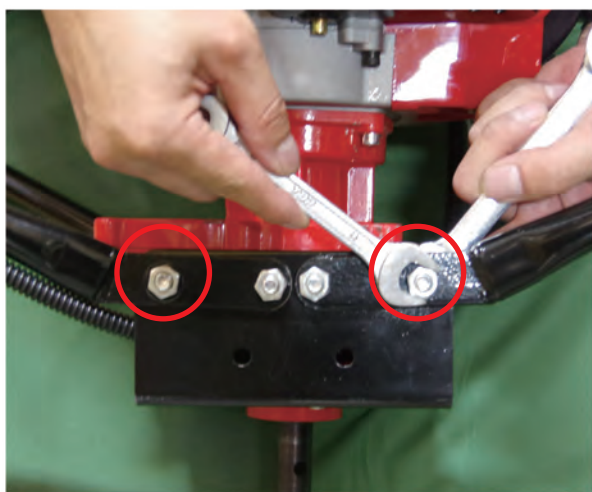
■ハンドルを組み立てます。(同梱の工具袋内の工具を使用して下さい。)




①畳まれた左右のハンドルを伸ばします。



②ハンドルを伸ばしたら、本体とハンドルの穴を合わせ、スパナでボルトとナットを止めます。  
(※裏表合わせて、計4箇所締めます。)



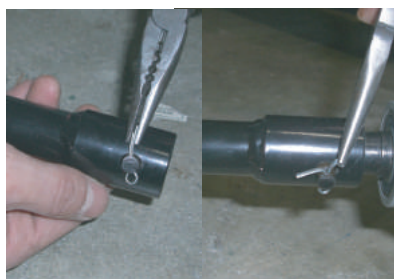
③必ず  印の箇所もスパナで締めます。  
(※こちらも裏表合わせて、計4箇所締めます。)



## 組み立て方、ガソリンの入れ方

・箱を開けたら、先ず、ドリルと本体をつなぎます。

### ① 差しピンタイプの場合



差しピンと割りピンをドリルから外し、本体の穴に差しピンを通して、割りピンで止めて下さい。

### ② ボルトタイプの場合



ボルトで繋ぐタイプのものは、工具を使って止めて下さい。

・次に、ガソリンと2サイクル用オイルを、専用タンクを使って、混合します。エンジン用オイルとガソリンを1：25の比率で、2サイクルタイプの混合ポリタンクに入れます。逆さまにすると、混合されますので、よく振ってから使用して下さい。



+



- ・エンジンオイルは2サイクル用をご使用下さい。
- ・燃料は、本体タンクの7割程度までにして下さい(500ccぐらいで調度いいです)。

ガソリン 25 : エンジンオイル 1

混合

## エンジンのかけ方

①・電源をONにします。→チョークをOFFにします。  
(エンジンをかけるときはチョークはONじゃないの?と思うかもしれませんが、この機械は表記が逆なんです。)

②初めて使う時は<追加説明>を参考に、管の中にガソリンを送り込みます。本体をしっかり押さえて、(アクセルは握らずに)スターターを思い切り引くとエンジンが起動します。



電源



チョーク

※注意：横置きの場合、ガソリンが半分以上入っていないと、掛りません。



横置き掛け方



縦置き掛け方

③エンジンがかかったら、(エンジンの回り方を見ながら)チョークをONにしてください。  
(稼働するときはチョークはONにします。OFFのままアクセルを吹かすと止まります。)

※注意：エンジンがかかると同時に、ドリルが回転する場合がありますので、ドリルが回転しても、大丈夫な体勢でエンジンをかけて下さい。また、その場合、メンテナンス項目を参照して、アクセルワイヤーの調整をして下さい。



## 穴の掘方

- ・アクセル加減でドリル回転のスピードをコントロールします。

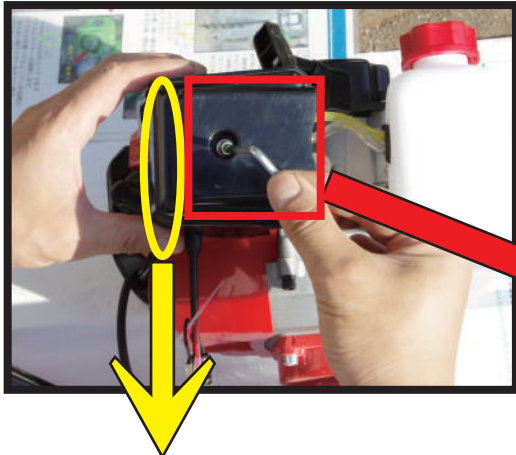


## 穴を掘る時の注意点

- ・できるだけ、垂直に持つこと。
- ・深く掘る時は、10cm ぐらい掘り下げたら、一度上に引き上げ、また 10cm 掘り下げること。  
(※一度に深く掘り下げすぎると、体が持っていかれて、危険です。)
- ・連続使用時間は 1 時間以内にすること、それ以上続ける場合は、1 時間は休ませること。  
(エンジンのオーバーヒートを防ぐため。)

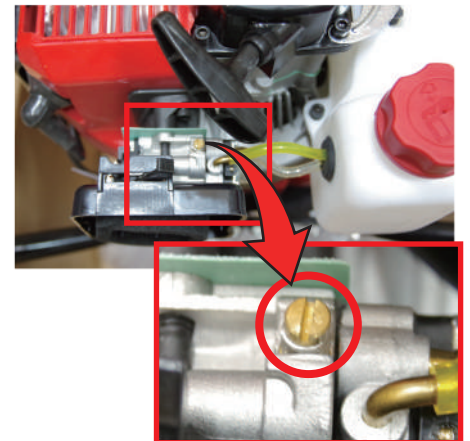
## メンテナンスについて

- ・アクセル側の本体横のカバーを外すとメンテナンスができます。

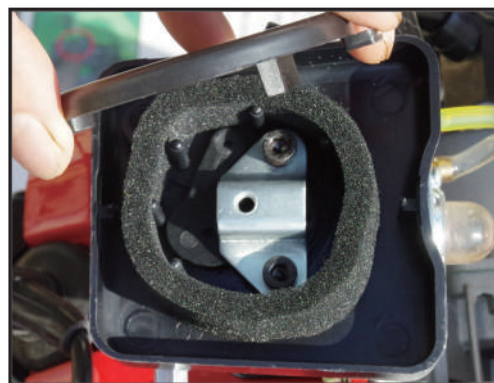


## ガソリンの流れる量の調整

- ・ガソリンの出入りが悪かったらネジで調整して下さい。  
(入りが悪い時→緩める  
入りすぎの時→閉める)



- ・中の給気フィルターを定期的に洗って下さい。



## アクセルワイヤーの調整

10mmと8mmのスパナ2本でアクセルワイヤーを調整します。

- ・アクセルを握ってもエンジンが全開にならない時ワイヤーをきつく張る。
- ・アクセルを握らなくても、ドリルが回る時は、ワイヤーを緩めると、勝手に回りません。



## 使い終わったら

- ・ガソリンがまだ入っている時は、本体を横に置いてしまわないでください。
- ・雨がかからないところに保管して下さい。
- ・ガソリンが気化する可能性があるので、暑くなる場所には保管しない事。
- ・長期的に使用しない時は、ガソリンを完全に拭いて下さい、古いガソリンは機械の故障の原因になります。

## 安全に操縦するために

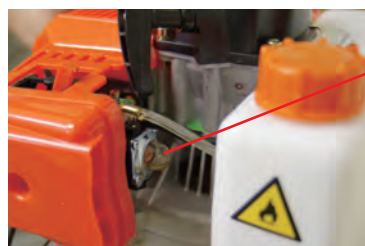
- ・一度に掘り過ぎると、ドリルが抜けなくなります。少しずつ掘り下げてください。もし、抜けなくなったら、本体とドリルを一度はずし、ドライバーのような棒をドリルのピンの部分に差し、逆に回すと楽に抜くことができます。
- ・スカートやだぶついた服は、ドリルにからむ可能性があるので、作業服で作業して下さい。
- ・18歳未満の方は当製品の使用を禁止しています。
- ・穴を掘る時、木の根っこや、石などが急に挟まると、危険です。油断しないでください。
- ・ガソリンを使用するので、火気には十分注意して下さい。
- ・アクセルを握ると、逆に回転数が下がる時は、2ページのガソリンの流れる量の調整をして下さい。
- ・白煙がひどいときは、チョークレバーで空気の量を調整してください。チョークでは解決できない時は、2ページ目のガソリンが流れる量を調整してください。

部品・ドリルのご注文は  
株式会社 アスクワークス  
TEL 03-5610-3666  
営業時間 平日 9:30～18:30

## 追加説明

冬場（寒いとき）はエンジンがかかりにくいので、以下の手順でかけてください。

1. オイル混合ガソリンを半分以上入れ、右手のスイッチを ON にする。
2. ガソリン送りポンプでガソリンを十分に送る。



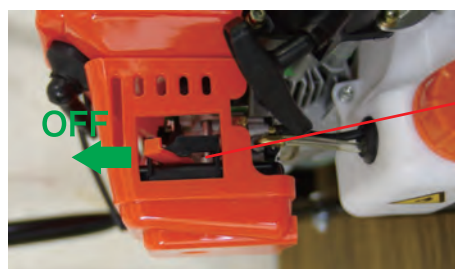
ガソリン送りポンプ

3. プラグキャップ（黒いゴムみたいな部分）がしっかり刺さっているか、確認する。



緩んでいないか、しっかり押し込む。

4. チョークを OFF にして、スターターを勢いよく引っ張る。（普通は ON じゃないの？と思うかと思いますが、この機械は OFF にした方がかかりやすいです。）  
気温 10 度で、10 回程度スターターを引っ張るとエンジンがかかります。



OFF にしてスターターを引っ張る。

**重要**

5. エンジンがかかったら、10 秒そのまま待つ。10 秒立ったらチョークを ON にして、アクセルを握る。



ON に戻してから、アクセルを握る。（OFF のままアクセルを握るとエンジンが止まってしまう。）

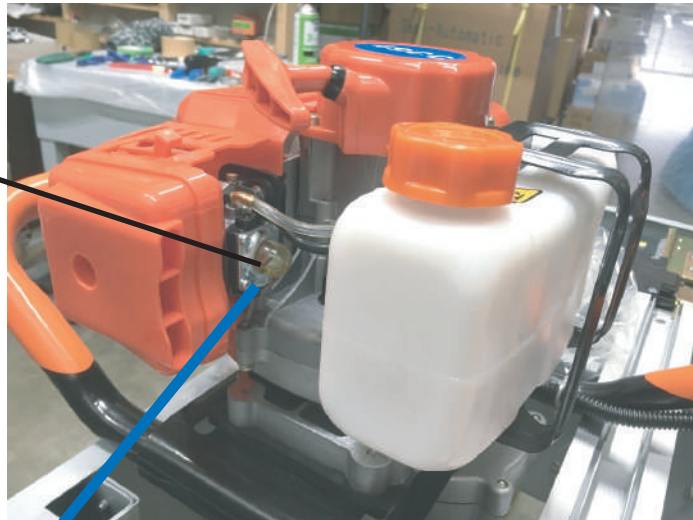


# 追加説明

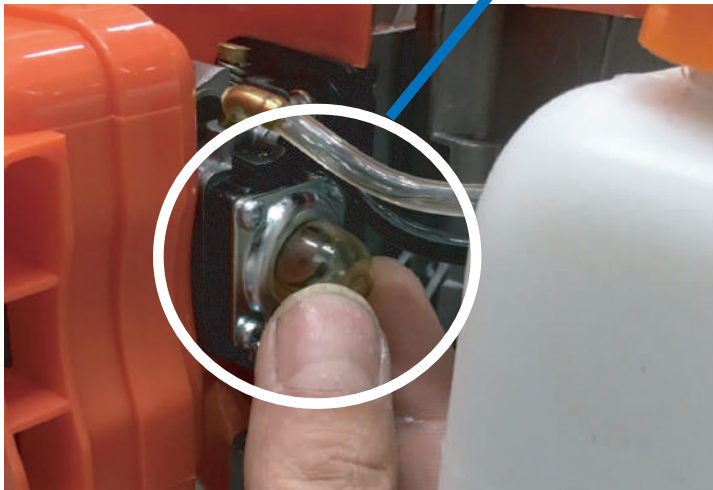
新品購入時、以下の作業をしないとエンジンがかかりません。

新品購入時や、長期間使用していなかったときは、下記手順を行わなければエンジンがかかりません。

透明で円くやわらかい部分を親指で何回か、押してください。管の中にガソリンが通って行けば、OKです。スターターでエンジンをかけてください。



拡大図



混合タンクについて



例：1 リットルのガソリンを大きい部分に入れたら、小さい部分の 25 : 1 と書いてある面の 10 のラインまでオイルを入れる。

チョークレバーは、完全に OFF にすると、止まりますので、回転の速度や調子、煙の色などを見ながら、微調整してください。(基本は ON のままで OK です。)



# スターター追加注意

スターターはひもを  
50センチくらいで  
素早く引っ張るよう、お願い致します。

ひもの長さは90センチ程度です。  
限界まで引っ張り、衝撃を与えると  
ひもが戻らなくなります。  
引きすぎによるスターター交換は、  
初期不良対象外となります。

※スターター交換費用：3,000円